



すてい~る

目次

● 特殊鋼販売技士1級研修講座をオンライン配信で実施	1
● 突然おじゃま 佐久間貞介 佐久間特殊鋼(株) 代表取締役執行役員社長	2
● 突然おじゃま 湊義明 野村鋼機(株) 代表取締役社長	3
● 突然おじゃま 福原実晴 南海鋼材(株) 代表取締役	4
● 新理事訪問 堀田靖(株) 堀田ハガネ 代表取締役社長 古池晃 古池鋼業(株) 代表取締役社長	5
● 理事会・委員会報告	6
● 事務局だより・編集後記	裏表紙



一般社団法人全日本特殊鋼流通協会

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3丁目2番10号(鉄鋼会館)

TEL.03-3669-2633・2777 FAX.03-3669-0395

ホームページ <http://www.zentokkyo.or.jp>

E-mail info@zentokkyo.or.jp

特殊鋼販売技士1級研修講座を オンライン配信で実施

地方の受講のしやすさ、働き方改革まで解決する講座のWEB化

全日本特殊鋼流通協会では2021年2月2日(火)から3月18日(木)まで、「特殊鋼販売技士1級研修講座」をオンライン配信で実施した。

昨春からの新型コロナウイルス感染拡大と、それに伴う感染防止のための制度運営改革の一環で、全国の各支部の研修講座が一斉にWEB講座化するのとは全特協として初の取り組み。東北から九州まで全国8支部の受講者は総勢178人の予定で、3月24日(水)には、各支部で感染予防対策を十分に講じた上で検定試験を同時に実地開催する。合格発表は4月15日(木)の予定。

資格研修講座のWEB化は、毎年一定の受講者が集まりにくい隔年開催などになりやすい地方支部のニーズや、従来の一堂に会して行なう集合研修が、やはり地方支部では勤務地から遠方の講習会場に通わなければいけない、就業後の夜間に受講のために発生する残業という課題を解決するため2018年から大阪支部が主導してシステム整備や運営体制を構築。当初は広島・福山地区にサテライト会場を設け、大阪支部の講義を配信する形ではじまり、昨年までに入門編や3級講座で中国、九州の両支部にサテライト配信を実施してきた。こうした実績を生かし、昨春以降のコロナ禍に対応するため全国各支部での資格研修講座のWEB化をすすめ、1級研修講座からの一斉スタートとなった。受講開始時間を16時からと勤務時間内としたのも、大きな特徴だ。

WEB研修講座の運営は、ホストとなる事務局、講師を務めていただいているメーカー、各社の受講者という3点を結ぶ形で行なわれる。講座開始以前に事務局では各1時間程度のテスト配信を3日間実施し、講師や受講者にアクセスしてもらい映像や音声の確認を行なってもらう万全を期した。その成果もあり、講師、受講者双方からは「WEB上で掲示される資料も見やすく、音声もクリアで申し分ない。大きな会場で行なわれる集合研修よりも勉強がしやすい」と好評で、システム上の不満はいまのところあがっていない。

配信でホストを務める事務局も「7月に行なった入門編や昨年度から繰り越した特殊鋼販売加工技士〈上級編〉の2回の講座は、ソーシャルディスタンスを確保するため従来の倍に近い会場を確保し、スライド映写用スクリーンも2台設置する必要があった。講師席は飛沫防止の観点からビニールシートを張りめぐらせたほか、アルコール消毒液や検温用の非接触型体温計の導入など感染防止対策に労力も予算もかけた」と振り返ったうえで、「実施までは初めてのことでなれないこともたくさんあり、各支部間との調整でご迷惑もかけたが、講座のWEB化により感染リスクは低減したことはもちろん、受講生のみならず講師を含めた運営スタッフも、それぞれの勤務地で移動もなく、講義終了時刻も大幅に繰り上げられたのは働き方改革の観点からも大きな前進」と成果を強調する。

全特協では、今後も各級の資格研修講座でオンライン配信をすすめていく方向です。より学びやすく円滑な運営のため、講座の内容やシステムの改善などに検討を重ねてまいります。受講生をはじめ会員各社の皆さんや講師の方々におかれては、ぜひご意見、ご要望を事務局までお寄せいただければ幸いです。



▲Bグループ(工具鋼・軸受鋼)の講義を担当される阿部行雄・日立金属(株)金属材料本部技術部技師 「対面講座と違い受講生の表情や会場の雰囲気かわからないので講義がうまく伝わっているかどうかという戸惑いは若干あるが慣れの問題かも」



▲事務局からWEBを通じて出欠確認、注意事項の説明などを行なう



▲大洋商事(株)の菅野永さん(左)と樽澤和也(右)さん
受講時は、電話等業務に煩わされないよう空いている会議室やミーティングブースを利用するという。「勤務時間内に自社で受講できるようになってありがたい。以前は夜、子供を義母に預けたりしながらの勉強だったので大きな負担軽減」(菅野さん)。「パソコン上に共有される資料は見やすく音声も明瞭なので、大きな会場よりもメモも取りやすくしっかりと勉強できます」(樽澤さん)と、WEB講座を歓迎する

突然おじゃま



(一社)全日本特殊鋼流通協会 前会長／
佐久間貞介(佐久間特殊鋼株式会社 代表取締役執行役員社長)

2014年6月から3期6年にわたり、全特協・第5代会長を務められた佐久間貞介氏。昨年の役員改選時は、コロナ禍の真ただ中であったことから定時総会は書面で開催。会員各社をはじめとした関係者へ、退任のあいさつもままならずの役員交代であったことから、改めて任期中を振り返り、協会の今後へのメッセージなどをお聞きした。

すべての会員の皆様のおかげで任期を全うできた 「支部を主役に」地域の発展から業界の発展を

前任の竹内誠二氏から指名を受け、会長職を引き受ける時佐久間氏が案じたのは「距離のハンデ」だったという。

——第2代会長の田島清氏以来、名古屋からの会長選出は12年ぶり。新幹線で2時間足らずとはいえ、東京に本部をおく全国組織のトップとして日々満足な活動が可能だろうか、と。理事会、本部委員会への参加や官公庁への訪問などですが、専務理事はじめ事務局のみなさんにしっかりと体制をつくっていただき無事に務められました。この間、本部役員、全国の8支部長、とりわけ副会長の湊義明氏や歴代の総務委員長など東京在住の役員に支援いただきました。改めて、すべての会員、メーカー、他団体、行政の皆様深く感謝申し上げます。

任期中に取り組んだ成果としては、協会の「財政健全化」をあげる。

——皆さんに「会費の値上げ」という重大な提起をし、ご理解をいただき会員の脱落もなく長年の課題に一定の解決をみた。ただ、その過程で「業界や事業の発展を望みながら協会の姿や事業活動はどうあるべきか」という議論をもっと重ねられればよかった。

いまひとつの大きな成果としては、資格研修制度のWEB講義化進展をあげる。

——従来からの、夜間一堂に会して行なう集合研修が、受講者が集まりにく

い地方支部の悩みや働き方改革などの観点から、すでに2018年から大阪支部と中国支部を結ぶオンライン講座の試行には着手していました。それもあって、コロナ禍を契機に一気に全国展開できたことは大きい。今後、数年のうちに最適な運営見直しが図られ、より費用対効果の高い制度となっていくことに期待します。

一方で、任期中にやり残したこととして「他業種との交流」をあげる。

——現在、会員は特殊鋼販売を中心に加工を手がけ、ユーザーニーズに応じて新素材やプラスチック、樹脂などの領域に踏み出している。全特協も非鉄分野の団体と交流したり異業種の賛助会員を募ったりしながら、協業のコーディネートや情報提供が必要になる。他の方々との交流をもう少し活発に進めたかった。また、今後は産学官の連携も重要だと考える。全特協が大学など、さまざまな分野との窓口になっていくことが必要でしょう。

全特協の意義、今後すすむべき方向性をたずねると、「支部こそが主役」という思いを熱く語った。

——全特協設立の精神は、各支部が独自の活動を活発化し、それぞれの地域から業界の発展を目指そうというもので、主役はあくまでも支部です。本部の役割とは、支部単位で取り組むには困難な、業界の課題解決を図るとか、個

社単独では難しい高度で広範囲な情報収集を行い、発信するなどの支援です。

研修講座のWEB化に代表されるリモート活用は、コロナ禍において急速に普及が進んだ。本部と支部、支部と支部の距離が一気に縮まり、さまざまなコミュニケーションが迅速化かつ合理化している。

——オンラインを活用したりリモート化の進展は、人と人との交流からオフィスの活用、働き方にまで大きな影響を与えています。今後の協会運営も、未来志向でよりよい形になるよう期待しています。

業界活動の一線は退いたが、企業トップとしていまだ多忙な佐久間氏。「権限委譲がすめば…」と今後のプライベートに夢を馳せる。

——ひとつはすでに携わっている奨学金事業の財団を今後、公益財団法人にして公共の支援が行き届かない優秀な学生だけでなく、陽の当たらない分野の研究者などにもサポートの幅を広げていきたい。いまひとつは、昔から思い描いている夢の具体化。年を取ったら親しい仲間と同じ場所に住まいを建てて、助け合って暮らすコミュニティをつくりたいと考えていました。うまく実現すれば、いまはリモートでいろいろなことができるので半定住したいな、と考えています。

突然おじゃま



(一社)全日本特殊鋼流通協会 前副会長／
湊 義明(野村鋼機株式会社 代表取締役社長)

2014年6月から3期6年、第5代会長の佐久間貞介氏とともに協会三役にあり、さまざまな事業改革に取り組んだ湊義明・前副会長。副会長就任以前は東京支部長兼総務委員長も6年務めた。東京支部長時代も含めた12年間を振り返り、任期中の取り組みに対する評価や今後の協会に期待することなどをお聞きした。

ブロック制の積極的な活用で 業界の課題テーマを集約、解決の道筋を

佐久間前会長同様に、「会費値上げによる財政健全化」を任期中の最大の成果としてあげる。

—— 全特協の財務内容を改善すること。これが最大の課題だった。佐久間前会長の先送りせず責任感をもって会員に協力を求めていくという決断で、まったく混乱もなくスムーズに実現できたことは、ご理解いただいた会員の皆様に繰り返し、お礼を申し上げます。会長として一番言い出しにくいことを前向きに取り組まれた佐久間さんの英断があったから実現できた大仕事だった。

任期中に導入した「ブロック制」についても、協会の新たな活性化への手応えを感じ、今後の効果的な運用に期待を寄せる。

—— ブロック制の実現には、それぞれ独立した組織ではあるものの参加会員数が少ない地方支部を、どう取り残さず一体的な協会としてサポートしていけばよいかという考えがあった。そこで、東日本・中日本・西日本という3ブロック制を導入し、エリア別にまとまることで新たな意見の吸い上げや集約も可能になり、地方支部単独では取り組めない新しい事業も行えるように

なった。ブロック単位での新しい交流がはじまることで全国組織、本来の活性化につながるのではないかと捉えている。

導入されたブロック制は、大阪支部が主導し中国支部や九州支部に提供をはじめた資格研修講座のオンライン配信にも効果を発揮。講座WEB化の全国展開の契機にもなっている。今後はさらに、この枠組みを生かし、会員のニーズを捉え団体として取り組んでいくテーマの議論、選択の場とならな

—— 参加率を高めるため、魅力的な事業や懇親の場の提供も大切だが、会員各社が自分たちの商売で感じる問題を解決したり、社業のために生かせることを提供することが本来の団体メリットだと考える。たとえば、政府の補助金のことや今ならコロナ禍への対応などの説明を経産省に求めたり、協会としての要望を伝えたり。同業者の課題解決に取り組み、そのための意見集約をする団体としてもっとブロック制は活用できるのではないかと。

湊氏がイメージするのは、各ブロックごとに支部が集まり、テーマを出し合いながら議論と集約をする。そし

て、それを定例化するということだ。

—— たとえば、私たちの業界の悪しき慣例として残る手形決済。この商慣行改善も協会として中長期観点で取り組まなければいけない問題だと考えている。売掛金が増え続けることで与信に影響し、商売にブレーキがかかることさえある。もちろん一朝一夕に解決できる問題ではないが、サイトを短縮するなど業界として改善していかなければいけないテーマのひとつ。

商慣行改善を例としてあげたが、こうした「業界の各社共通の悩みごと」を定期的に持ち寄って議論することが、懇親も含めた事業の参加率向上につながると湊氏は考えている。

—— ブロック制は今後の人事を柔軟に考える上でも役立つはず。ブロックという大きなまとまりを概念にして適任の人材があれば地方支部から会長や副会長を選出してもいい。そうできれば、地方も一体となった全特協のもっと大きな広がりが見られる可能性がある。その前提には、ブロック制を単位にすべての支部が活発に意見発信できる場を整えること。それが「入っていてよかった全特協、参加してますますよかった全特協」につながるのではないかと。

突然おじゃま



(一社)全日本特殊鋼流通協会 前副会長／
福原實晴(南海鋼材株式会社 代表取締役)

2014年6月から3期6年、第5代会長の佐久間貞介氏とともに協会三役にあり、さまざまな事業改革を推進した福原實晴・前副会長。昨年の役員交代時は、折からのコロナ禍で総会等のイベントは中止となった。会員各社をはじめとした関係者へ、退任あいさつの機会もなかったことから任期中の振り返りや今後の協会への思いなどをお聞きした。

ボトムアップ型で議論を尽くし 「変えることを恐れずに、変革を」

大阪支部長を8年、副会長を6年務め、「情熱をもって人と接する。これが第一でした」と福原氏は力を込めて語りはじめた。

— お客様との会なら利害関係があるから協力的にまとまるが、同業者の集まりはそうとも限らない。だから、情熱をもって人や物ごとに当たらないと参加意識も高まらないし、賛同を得ることもできません。

情熱の大切さは、慣例や習慣にとらわれず新しいイベントを実施する場合に不可欠、と福原氏は力説する。

— 大阪支部長としての取り組みですが、はがねの日記念のファミリーコンサート。それまで、ボウリングやゴルフなどはあってもアカデミックなイベントはありませんでした。でも、年に1回ぐらいは興味をもとうよ。記念日にお取引様や社員、そして、その家族を招いてクラシック音楽というカルチャーに触れる。そんな業界だと発信もできる。準備や当日の誘導など、それは大変です。でも、「やりたいんだ」という自分の思い、情熱を示さないと賛同も協力も得られません。

2回、3回と続けるうちに参加者の興味も高まり、毎年企画を楽しみにしてくれるようになったファミリーコンサートは、大阪支部の風物詩になった。

— 正統なクラシックだけでは退屈するので、アニソンを交えたり子供がコンダクター体験をできるようにしたり。私の情熱がみなさんのアイデアやご協力に結びついて、ステキな催しが長く続けられたことを感謝します。

任期中の成果としては、佐久間前会長同様に「会費値上げによる財政健全化」を最大のものとしてあげる。

— 歴代、値上げによる会員離れが怖かった。でも、「腹を括ってやりましょう」と。このときも情熱をもって会員の皆さんに説明したら、想像以上に成果がありました。もうひとつ大きな前進は、資格研修講座のWEB化。副会長兼西日本ブロック長でもあったため2018年に、中国支部のニーズに応える形で大阪の研修会場からサテライトで広島地区をつなぎ、WEB研修を先駆けて実施しました。これが、コロナ禍を受けて全国展開できるノウハウになりました。大阪—中国支部間の立ち上げでは、堀田ハガネの堀田靖社長にずいぶんとご苦勞をかけました。堀田さんも情熱の人なんです。引き受けたらとことんやってくれる。堀田さんのような情熱ある人がいなかったらできなかったことです。本当に恵まれていました。

今後の全特協には「慣例、慣習にとらわれず時代に合った運営を」と期待を寄せる。

— 昔の常識はいまは非常識ということが多々あるし、コロナ禍以前と以後でも大きく変わったのではないのでしょうか。従来のマニュアル的なことばかりでなく、なくしたり止めたりすることを恐れずに変革を。個人的にはボトムアップ型でどんどん議論を尽くしてほしい。

全特協の意義については、改めて「懇親」を強調する。

— 設立直後は勉強会など公益事業を重視するあまり懇親については誤解される傾向がありました。しかし、懇親による信頼から「秩序とマナー」が生まれる。同業者の集まりとしては第一です。懇親して信頼が生まれた仲間を、昼間に安売り合戦で痛めつけられますか？ 懇親はもっともっとやったほうがいい。

全特協の役員を退任したことで空いた時間は趣味にも充てたいと語る。

— 社内で行っているオヤジバンドはずっと続けたい。いまは中断しているが、帆船模型の製作や絵を描くことも再開したいですね。

※福原氏の描く絵は、ポスターカラーによるイメージ画で、グラフィックアートに近いもの。一見の価値あり。

新・理事訪問



株式会社堀田ハガネ 代表取締役社長 堀田 靖

働き方改革、地方支部のあり方を視野に 研修事業のWEB化を、さらに推し進めたい

昨年6月の役員改選で新たに協会理事として新任された堀田靖氏(1959年2月生まれ)は桃山学院大学経済学部卒業後、81年4月に大同特殊鋼に入社。星崎工場情報システム部や築地工場経理部を経て、85年9月に堀田ハガネに入社。前社長を補佐して物流センターを立ち上げたほか、資本関係にある川本鋼材で1年間の研修を受けるなど特殊鋼流通の経験を積んだ。93年5月に社長に就任し、SNCM鋼、SNC鋼の含ニッケル鋼やSNB16・SNB7の高温ボルト用鋼などの特色ある販売を行なっているほか、一昨年から機械加工を内製化し、協会会社都の協業で加工製品の販売に注力している。

全特協の活動では大阪支部の若手の会「青樹会」を皮切りに、その会長を務めたほか2001年11月に設立された青年部会の発足メンバーとして参加し、04年6月には第2代部会長に就任。

若手経営者として数多くの知己を得てきた。その後、大阪支部では経営効率化や調査研究の各部会を経て人材育成部会に携わり、部会長を務めるなどして本部の人材育成委員会副委員長を歴任。資格研修の運営や制度改革に大きく貢献してきた。

堀田氏自身、本部理事への就任を「資格研修講座のWEB化推進のため」と認識している。18年から大阪支部—中国支部で先行されたオンライン講座の開発と運用開始の担当者であり、昨年から全国展開に向けた「WEB化ワーキンググループ」への参画から2月の1級資格講座のオンライン配信実現まで、全特協の研修講座WEB化推進を担ってきたトップランナーというにふさわしい。

「ここまで当然、生みの苦しみがありました。システム環境の整備や習熟だけでなく、これまで各支部で多少異

なる研修の運営ルールなどを調整していくなどで、各地区の事務局の努力は大変なものでした」と振り返る。その上で、新型コロナ対応を受けて一気に進展したWEB化を後退することなく進めることは当然として、「現在、手作業の事務をシステム化したり画像やパワーポイントを改善して、実地に集合して行なう従来の研修よりもクオリティの高いWEB研修を実現したい。将来的には全国統一の研修実施を目指したい」と抱負を語る。

参加人数が限られる地方支部の人材育成に関する悩みや、働き方改革に寄与できるWEB講座の進展に期待が高まるが、「地方支部は事務局がなく、幹事会社が手弁当でやっているの、その解消も視野に入れたい。WEB化を契機に協会全体で将来の目標を共有したい」と最重要事業を担う新理事として変革の構想は尽きないようだ。



古池鋼業株式会社 代表取締役社長 古池 晃

青年部会時代からの先輩方と 団体メリットをより打ち出せる運営を支えたい

昨年6月、大阪支部から協会理事として新任された古池晃氏(1966年12月生まれ)は関西大学社会学部卒業、90年4月に愛知製鋼に入社。92年8月には昭和10年創業で85年以上の老舗特殊鋼問屋・古池鋼業に入社し、2011年5月に社長に就任した。

同社は、SCMを中心とした構造用鋼を主力にバネ平、ステンレス、鍛造品、加工品も手がける。切断だけでなく2年前からは旋盤加工機を設置し、遠方の需要家に加工・熱処理までという一貫サービスを提供し、信頼を得ている。

経営理念は「信頼される商品を 信頼されるサービスを」がモットー。フットワーク・ルート・インセンティブ・ケアの「フ・ル・イ・ケ4点」を方針に社員一同の連携を大切にしているという。社員教育は全特協の人材育成事業を活用するほか、現場の社員にも

フォーク免許や大型免許、電気資格などを会社から支援し、合格後は給与プラスするなど手厚い。社員と飲みに行くなど、お互いにストレスをため込まないよう気づかっているが、「現在、コロナ禍で福利厚生はすべて控えざるを得ませんが」とこぼす。

業界活動は、大阪の青樹会を皮切りに、青年部会設立メンバーとなり運営委員、副部会長を務めた後、15年6月部会長に就任。「青年部会では全国の会員と意気投合し、委員会や総会などに出席しながら見識を得ることができました。本部理事としては調査研究委員会副委員長を拝命しましたが、青年部会のころの先輩方が役員や運営委員にいらっしやるので、『入ってよかった全特協』の言葉通り、団体メリットを感じられるよう運営を支えていきたい」と抱負を語る。

中学からテニスをはじめ大学時代は

体育会テニス部でキャプテンも務めるなど活躍。卒業後もOBコーチとして指導を長く続けた関係から、現在も関西大学体育会OB・OG会の委員や校友会の委員を務めている。「テニスの指導をやめてからはゴルフを真剣にやるようになり、週一ペースで鳴尾ゴルフ倶楽部をまわっています」と笑うスポーツマンだ。ハンデは16とのこと。テニスは母親の影響ではじめ、現会長の父親とともに両親ともゴルフ好き。「現在、コロナ禍で高齢の両親には外出をできるだけ控えるよう言っていますが、落ち着いたらできるだけ長く2人で続けてほしい」と語る。

好きな言葉は「『ONとOFFの使いわけ』テニスのコーチ時代は学生に『やるときは真剣に』という意味で使っていました、好きな季節は「桜のきれいな春、特にゴルフ場が最高です」とのことだ。

理事会・委員会報告

■運営委員会

○第32回運営委員会

日時：2021年1月19日(火)13:45～14:30

於：Zoom会議

- 内容：①2021年度事業計画の基本方針及び予算について
②第9回定時総会について
③定款の一部改正について
④新型コロナウイルス感染対応マニュアルについて

■人材育成委員会

○第22回人材育成委員会

日時：2021年2月24日(水)13:30～15:00

於：Zoom会議

- 内容：①2020年度販売技士・加工技士研修講座実施状況報告について
②2020年度販売技士1級WEB研修講座実施状況について
③WEB研修講座WGの各チームの活動状況について
④2021年度販売技士・加工技士研修講座の計画(案)について
⑤2021年度事業計画(案)及び予算(案)について
⑥研修講座WEB化の全体的なスケジュールや方向性について
⑦次回委員会開催日程について

【WEB研修講座WG】

○第2回販売技士教材検討打合せ

日時：2020年12月11日(金)15:00～17:00

於：安保ホール

- 内容：①講師事前会議及び受講案内の資料について
②販売技士1級の講師一覧表について
③販売技士教材検討打合せについて
④入門編 PPT データの見直しについて

○第1回加工技士教材検討打合せ

日時：2021年2月12日(金)14:00～16:30

於：安保ホール及びZoom会議

- 内容：①WEB研修講座WG/教材検討チーム発足の経緯について
②2019年度販売加工技士「上級編」実施状況について
③2021年度販売加工技士研修講座のスケジュールについて
④加工技士の教材検討(PPTやビデオ)について
⑤大阪支部の検定試験内容について

○第2回WEB研修講座WG

日時：2021年2月18日(木)13:00～14:30

於：Zoom会議

- 内容：①特殊鋼販売技士1級の研修講座の進捗状況について
②WEB研修講座WGの各チームの活動状況について
③WEB化の全体的な中期スケジュールや方向性の提案について
④その他

【販売技士検定試験委員会】

○講師事前会議

日時：2021年1月8日(金)15:00～16:10

於：Zoom会議

- 内容：①2020年度特殊鋼販売技士研修実績見込みについて
②2020年度特殊鋼販売技士1級研修要領について
③2020年度特殊鋼販売技士1級講義内容及び検定試験について

○人材育成部会長・事務局打合せ(来期の研修講座開催について)

日時：2021年1月29日(金)16:30～17:10

於：Zoom会議

- 内容：①2021年度研修講座の開催時期及び実施方法について
②各支部意見について
③人材育成関連会議日程について

■調査研究委員会

○第31回調査研究委員会

日時：2020年12月15日(火)15:30～17:00

於：安保ホール

- 内容：①特殊鋼流通統計調査について
②第95回(7-9月)景況アンケート調査報告について
③第96回(10-12月)景況アンケートの設問について
④第19回経営環境等に関するアンケートの設問について
⑤2021年度事業計画(案)及び予算(案)の考え方について
⑥次回委員会日程について

■内外交流委員会

○第16回内外交流委員会

日時：2021年2月26日(金)15:00～16:30

於：Zoom会議

- 内容：①2020年度事業及び予算の実績見込みについて
②2021年度事業計画(案)及び予算(案)について
③2021年度の海外視察研修について
④各支部の内外交流部会活動について

■経営効率化委員会

○第20回経営効率化委員会

日時：2021年2月22日(月)15:30～17:00

於：安保ホール及びZoom会議

- 内容：①前回経営効率化委員会の議事録報告について
②2020年度事業及び予算の実績見込みについて
③2021年度事業計画(案)及び予算(案)について
④全国イベント「全特協全国ボウリング大会」開催可否について
⑤次回委員会日程について

■広報委員会

○第24回広報委員会

日時：2021年2月17日(水)15:30～17:00

於：Zoom会議

- 内容：①広報誌「すてぃーる73号」の記事校正確認等について
②広報誌「すてぃーる74号」の記事内容等について
③2020年度事業及び予算の実績見込みについて
④2021年度事業計画(案)及び予算(案)について
⑤次回委員会日程について

事務局だより

1 第9回定時総会の開催について

今年の定時総会は、コロナ禍ではありますが万全な感染防止対策を実施し、東京駅前のパレスホテル東京において以下のスケジュールにて開催を予定しております。

詳細については改めて会員の皆様にご案内いたしますので、奮ってご参加くださいますようよろしくお願い致します。

- (1) 日程：2020年6月9日(水)
- (2) 場所：パレスホテル東京
- (3) スケジュール：定時総会 14：30 への予定
講演会 15：45 への予定
懇親会 17：30 への予定

2 協会事務局の人事異動について

約1年間、本部総務部次長兼東京支部事務局長としてご活躍されました「高木雅恵氏」が3月31日付にて退職されます。その後任として「齋藤圭輔」が2月1日付より本部総務部課長補佐兼東京支部事務局長として就任しました。引き続き全国及び東京支部の会員の皆さんよろしくお願い致します。

3 2021年度特殊鋼販売技士・加工技士の研修講座開講について

2020年度の研修講座は、コロナ禍により販売技士3級・2級及び加工技士の基礎編が中止を余儀なくされました。

そんな中で隔年開催の販売技士1級は、本誌特集記事にもあるように受講者・講師・事務局と3者が初めての試みと苦労しながらZoomによるオンライン講座を開催しております。

2021年度の研修講座についても、基本的には引き続き集合しての講義は無理と判断しZoomによるオンライン講義で開催することに致します。従いまして全国のどの支部からでも受講が可能となります。

但し、4・6月はZoomをさらに進化させたウェビナー(WEB+セミナー)システム採用の準備期間とするためスケジュールは以下のとおり例年より後ろ倒しの開催となりますのでご注意ください。

2021年度開講スケジュールは以下のとおり

講座名	講座の内容	実施時期
【販売技士入門編】	特殊鋼を学ぶために必要な金属の基礎知識	2021年4月～
【販売技士3級】	特殊鋼の基礎知識	2021年8月～10月
【販売技士2級】	特殊鋼の熱処理	2022年1月～3月
【加工技士基礎編】	図面の読み方描き方	2022年1月～3月
【加工技士上級編】	図面により工作機械・加工方法の理解など	2022年度に延期

(但し加工技士講座の図面の講義など一部は集合教育の予定です)

4 ポリエステル製立体フィットマスクの配布(青年部会)

今年は、第三波の新型コロナウイルス感染症拡大により二度目の「緊急事態宣言」の発令に至り、そして1か月延長となりました。

当協会青年部会では、例年4月1日の「はがねの日」の記念グッズの作成を2ヶ月前倒しし、コロナ禍に対応するグッズとしてオリジナル立体フィットマスク(全特協ロゴマークのワンポイント入り)を作成しました。

1月末には正会員様のお手元にお届けしましたので会員の皆様でご活用ください。



編集後記

皆様、コロナ禍の中、いかがお過ごしでしょうか?? ワクチン接種が始まっていますが一般の方に廻ってくるのはまだまだ先ようです。去年の今頃はまだウィルスの怖さがわかっておらずのんびりしておりました。コロナウィルスに感染し亡くなられた方闘病されてる方々皆様に心よりお見舞い申し上げるとともに、医療従事者の皆様に敬服と感謝申し上げます。

秋口にはコロナの終息が来ていることを願ってやみません。心配なのはオリンピックの開催です。不安と期待が膨らんでいきますね。特殊鋼を取り巻く環境は昨年激動し今年にはいり上向いてきました。昨年よりよくなるのは間違い

ないでしょう。もうひと踏ん張り頑張りましょう。

「すてい〜る73号」を発行します。コロナの影響で全国各地賀詞交歓会が中止になったため今号は卒業された先輩方のコメント等を掲載させていただきました。ご一読ください。佐久間社長、湊社長、福原社長本当にご苦労様でした。そして有難うございました。これからも御指導の程宜しくお願ひします。櫻前線もきこえてますが、まだまだ寒さが残ります。

お身体御自愛ください。会員の皆様と御家族の御健勝を祈念しております。

久木田 至